

ワクワク

が学びを変える

「活用」「自律」「行動規範」の観点で育成する デジタル・シティズンシップ

—小・中学校における取組のあり方—

アンケート機能を使うと手軽に、一気に意見を集約できるから

便利！

編集した動画にみんながどんな反応をするか意識すると

楽しい！

インタビューでの生徒の声



デジタル・シティズンシップの観点を大切にすることで、
子どもたちの前向きな感情を引き出す！



禁止・抑制ばかりではなく、よりよい使い方の例を考える指導！

研究に協力した指導者の声

情報モラル教育のさらなる充実に向けて！

デジタル技術を活用して社会参画することを目指した指導へ！

デジタル技術が急激に進歩する時代に必要な力であるデジタル・シティズンシップを育成するための考え方や実践を、2年間の研究を基にまとめました。必見の1枚です！



I デジタル・シティズンシップの考え方



急速に社会のデジタル化が進み、ICTの活用が日常的になっている実態を踏まえ、「滋賀の教育大綱(第4期滋賀県教育振興基本計画)」では、「情報モラル教育の充実」として、「デジタル・シティズンシップの観点を踏まえ、デジタル社会の構成員の一人として、自ら判断し、責任ある行動ができる力や、自らの意思で積極的にデジタル社会と関わっていく態度」を育むことを目指しています。

デジタル・シティズンシップ

デジタル技術の利用を通じて、社会に積極的に関与し、参加する能力

デジタル・シティズンシップの観点を踏まえて育む力と態度

デジタル社会の構成員の一人として、自ら判断し、責任ある行動ができる力

自らの意思で積極的にデジタル社会と関わっていく態度

「滋賀の教育大綱(第4期滋賀県教育振興基本計画)」を基に整理

II デジタル・シティズンシップを育成するための指導



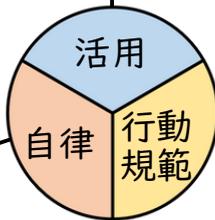
ワクワクする気持ちがデジタル技術の積極的な活用の原動力!

デジタル技術を活用する際、場所や時間を超えて瞬時につながることができるなど、便利さや魅力にワクワクする気持ちを抱くことが大切だと考えます。そこで研究では次の2点を意識しました。

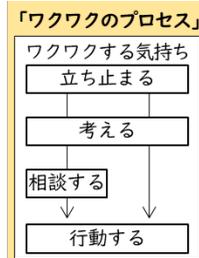
① デジタル・シティズンシップの三つの観点に基づく指導

- 「なぜ」、「どうすればいいか」の視点から対話を通して、デジタル技術の効果的な活用する方法を考える。
- デジタル技術の活用を通して、注意することを考える。

デジタル技術を活用する際、自分ならどう行動するか、自ら判断し、自己決定する。



デジタル技術を活用する際の、自分の行動を見直す行動規範「ワクワクのプロセス」を身に付ける。



ワクワクする気持ちでデジタル技術を活用することを大切にして、適切に判断し、行動できるようになってほしいという思いから作成し、授業で提示しました。

② デジタル・シティズンシップの学習テーマと関連付けた授業構想



「家庭で学ぶデジタル・シティズンシップ～実践ガイドブック～」(総務省)で扱われている学習テーマの一つと、教科等の学習内容を関連付けて授業を構想しました。**同じテーマで特別活動(学級活動)と各教科等を結び付けた教科横断的な授業構想や、授業での学びを生かす取組を行いました。**これにより、**児童・生徒が学びを結び付けたり、生かしたりできるようにし、デジタル・シティズンシップの育成を図りました。**

メディアバランスとウェルビーイング
デジタル足あととアイデンティティ
対人関係とコミュニケーション
セキュリティとプライバシー
ニュースとメディアリテラシー
ネットいじめ、もめごと、ヘイトスピーチ

小学校

教科横断的な授業構想による実践！

特別活動(学級活動)と各教科等と結び付けて、教科横断的な実践ができるように授業を構想することを大切にしました。学級活動の学びを教科の学びに結び付けている第2学年と第6学年の児童の姿を紹介します。

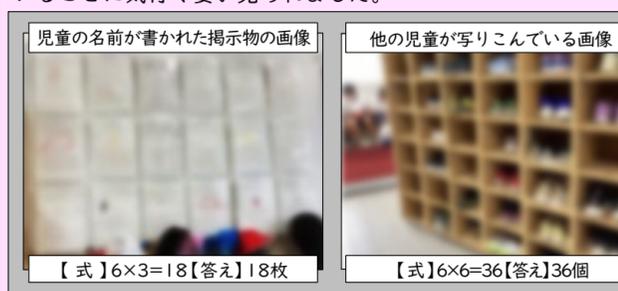
第2学年 学級活動 × 算数科

算数科の授業の中で、学級活動での「個人情報」と「立ち止まる」「考える」「相談する」ことの学びを結び付けている姿が見られました。

学級活動の授業で見られた児童の姿

デジタル・シティズンシップの学習テーマ【セキュリティとプライバシー】	
ねらい	インターネットに載せてもよい情報と載せるべきではない情報を判断し、行動できるようにする。
学習活動	<ol style="list-style-type: none"> インターネットで発信してもよい自己紹介の内容を自分で判断し、「個人情報」について理解する。 対面とインターネットでの自己紹介の違いを考え、インターネットのよさに気付く。 インターネットを使うときの合言葉として「立ち止まる」「考える」「相談する」を確認する。
児童の姿	学習を通して、「個人情報」についてのイメージを広げ、理解を深めている姿が見られました。

算数科の授業で見られた児童の姿

単元	かけ算を使って身の回りにあるものの数を数えよう
学習活動	校舎内でかけ算の問題として活用できる写真を撮影し、その式と答えを書き込む。
児童の姿	<p>教室の掲示物や靴箱を撮影した写真に友達の名前や姿が写っていることに気付く姿が見られました。</p>  <p>児童の名前が書かれた掲示物の画像 他の児童が写りこんでいる画像</p> <p>【式】$6 \times 3 = 18$【答え】18枚 【式】$6 \times 6 = 36$【答え】36個</p> <p>学級活動で学んだ「個人情報」に当てはまるため、写真を使ってもよいかどうかを相談する姿が見られました。</p>

第6学年 学級活動 × 国語科

国語科の授業の中で、学級活動での「情報を比較、分析する」ことの学びを結び付けている姿が見られました。

学級活動の授業で見られた児童の姿

デジタル・シティズンシップの学習テーマ【ニュースとメディアリテラシー】	
ねらい	インターネット上の情報を比較、分析することによって、情報の真偽を確かめたり、多様な考え方に触れたりすることを通して、情報の扱い方を見直すことができるようにする。
学習活動	<ol style="list-style-type: none"> どのような方法で情報の真偽を確かめるとよいかを考える。 同テーマの児童同士で集めた情報の真偽を確認する。 調べた内容の交流を通して、自分は情報をどのように判断するかを考える。
児童の姿	自分が調べた情報と友達が調べた情報を比較、分析して、どのように判断し、行動するかを考えている姿が見られました。

国語科の授業で見られた児童の姿

単元	日本文化を発信しよう
学習活動	インターネットで調べた情報を用いて、日本文化をパンフレットにまとめ、発信する。
児童の姿	<p>学級活動で学んだ方法で、インターネットで調べた和食の特徴について信頼できるかを確認、収集した情報を基にグループで相談して合意形成を図る姿が見られました。</p>  <p>①和食には塩分が多いと書いてあった。摂り過ぎないことを紹介しようと思うけど、どう？</p> <p>②こっちには和食のよさは、栄養バランスが取れているって書いてある。洋食と比べたデータもある。</p> <p>③どちらも信頼性の高い情報だね。記事はどうする？</p> <p>相談して決めた記事の内容 「だしのうまみを使うことで、塩分の使用を控える工夫ができる」</p>

中学校

デジタル技術のよりよい活用に焦点を当てた実践！

デジタル・シティズンシップの学習テーマと関連付けた授業だけでなく、授業での学びを生かす取組の両方を行うことを大切にしました。デジタル技術のよりよい活用方法を学んでいる生徒の姿を紹介します。

授業での学びを生かす取組

他者意識をもち、責任ある行動をとろうとする姿や効果的にデジタル技術を活用しようとする姿が見られました。

生徒会活動で見られた生徒の姿

ねらい	生徒会活動を活発にするために1人1台端末を積極的に活用する。
主な活用例	共同編集機能による生徒会新聞の発行 アンケート機能による全校の意見集約 動画編集機能による啓発動画の作成
生徒の姿	<p>生徒会役員の声</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒会新聞をみんなが読んでいるから今まで以上に読み手を意識した。 編集した動画にみんながどんな反応をするか意識すると楽しい。 デジタルで見ってもらうことのよさもあるけど、紙に書いてつくることのよさもあると思った。 <p>アンケート機能を使うと手軽に、一気に意見を集約できるから便利</p>

縦割り活動で見られた生徒の姿

取組	体育祭で編成した縦割り団のリーダーが、体育祭の活動の様子を生徒や保護者に伝えるための通信を作成する。
取組の流れ	<ol style="list-style-type: none"> 取組の目的や通信の配付対象を確認する。 体育祭での頑張りを伝える文章を作成する。 文章の内容にふさわしい写真を選ぶ。
生徒の姿	<p>団リーダーの声 先生が通信を発行するときに文書の書き方や写真を選ぶことにこんなに気を遣っていたことが分かった。</p> <p>①全校に配付するから、写真は3年生だけじゃなくて1、2年生からも選んだ方がいいな。</p> <p>②そやな、偏りがいいな。</p>

デジタル・シティズンシップの学習テーマと関連付けた授業

学習内容を自分事として捉え、デジタル技術のよりよい活用方法を学んでいる姿が見られました。

技術・家庭科(技術分野)の授業で見られた生徒の姿

題材	情報の技術「情報の技術の原理・法則と仕組み」
デジタル・シティズンシップの学習テーマ【ニュースとメディアリテラシー】	
ねらい	SNS上の情報の信頼性や発信してもよい情報かどうかを判断する。災害時のSNSの効果的な活用方法を知る。
学習活動	<ol style="list-style-type: none"> SNS上の情報の信頼性や発信してもよい情報かどうかを自分で判断し、考えを交流する。 SNS上の情報の見極め方を確認する。 災害時にSNSを効果的に活用する方法を確認する。
生徒の姿	<p>①投稿された時間がいつかは確認した方がいいな。</p> <p>②実際に見た内容なのか、誰かから聞いた内容なのかも大事な。</p> <p>③振り返りの記述 災害が起こったときにSNSをどのように使うとよいか分かった。正しく使えるようにしたい。</p>

社会科(公民的分野)の授業で見られた生徒の姿

単元	日本国憲法と基本的人権「平等権の保障」
デジタル・シティズンシップの学習テーマ【ネットいじめ、もめごと、ヘイトスピーチ】	
ねらい	一人ひとりが差別のない社会をつくる一員であることを自覚し、差別解消に向けて自分にできることを考える。
学習活動	<ol style="list-style-type: none"> SNS上の投稿に対して、自分ならどのような行動をするか考え、意見を交流する。 SNS上で差別解消の輪が広がった事例を知り、SNSの活用方法を見直す。 SNSを活用する際に注意することを確認する。
生徒の姿	<p>誹謗・中傷的な投稿に反応するのは怖いけど、共感できる投稿に「いいね」はできるかな。</p> <p>④振り返りの記述 「いいね」や「リポスト」で誰かを応援することができるので、自分ができる範囲でよい距離感を保ちたい。</p>

Ⅳ 家庭と連携を図る取組

児童・生徒のデジタル・シティズンシップを育成するために、家庭との連携を図ることは、小・中学校ともに大切です。研究では、児童・生徒と保護者がデジタル機器との付き合い方について、家庭で話し合うきっかけになるよう、学習した内容や参考にしていただける資料を紹介する啓発文書を配付しました。



研究で配付した啓発資料の例



総務省



家庭で学ぶデジタル・シティズンシップ

子どもと対話をしながら、デジタル・シティズンシップを学ぶことができる啓発資料です。子どもへの接し方などの保護者の悩みを解消するために作成されています。

滋賀県教育委員会



インターネットと子育て

発達段階ごとの特徴や課題、子育てのアドバイスなどが掲載されています。家庭でのルールの決め方などのポイントも紹介されているリーフレットです。

V 教材リンク集

指導案・授業スライド・動画資料などが盛りだくさん！
児童・生徒の実態に合わせて参考にしてください。

文部科学省



情報モラル教育ポータルサイト

情報モラル教育に関する資料等を掲載したサイトです。学習コンテンツ・啓発資料、授業実践・活用事例、教員向けの動画コンテンツなどが掲載されています。



StuDX Style

GIGAスクール構想により整備された新たな機器等を日常的に活用していくイメージをもてるよう、先進的な実践事例等について情報発信されています。

総務省



上手にネットと付き合おう！安心・安全なインターネット利用ガイド

インターネットの安心・安全な利用に係るコンテンツを掲載した全世代型の啓発サイトです。特集として「生成AI」や「ニセ・誤情報」などが掲載されています。

一般財団法人 LINEみらい財団



活用型情報モラル教材「GIGAワークブック」

一般財団法人LINEみらい財団と国立大学法人静岡大学教育学部准教授塩田真吾氏が共同で開発した「情報モラル」と「情報活用」の育成や向上を図るための教材です。自治体や学校に無償で提供されています。

令和5年度(小学校)、令和6年度(中学校)の研究成果物は
ホームページからダウンロードできます。

- ・ 研究論文
- ・ 授業構想例
- ・ 学習指導案
- ・ ワークシート
- ・ 保護者啓発文書

研究発表動画(限定公開)
もぜひ御覧ください！

